

開催日時：2005/06/05(SUN) 13:00~15:05

開催場所：小牧勤労センター 小会議室

出席者：御領親幸、川田三千彦、鳥居昭夫、大弥保憲、若林尚貴、船木一祥(順不同)以上6名

報告書

1. 運営委員会報告

1. ジムカーナ部会より

- ・SA車両のマフラーに関し、排気管変更認められていない(エキマニも×)が、ラリーはエキマニやフロントパイプOK。統一性が無いのでラリーでも排気管変更不可にならないか。
- ・ラリー車は夜間の音の問題でマフラーのみ純正としている。また他地区との整合を図っている。ラリー車は現状通りとする。

2. ダートラ部会より

- ・1500cc(新しい車)クラスを新設したいのでラリーでも同調してほしい。
- ・車両的にはスイフトやヴィッツの1500ccモデルが対象か。
- ・選手権のクラス区分は1400か1600しか選べないので、やるとすればJMRCタイトル。(2006年ラリー選手権規定参照)
- ・クラスを設けるのは簡単だが、今の中部では成立しない?
- ・ラリーとしては来年は様子見とする。

2. 2006年中部・近畿ラリー選手権

1. 5月8日の合同部会の内容説明と検討

(a) 2006年のクラス区分

案1		案2	
クラス1	~1400	クラス1	~1400
クラス2	1400~3000	クラス2	1400~1600
クラス3	3000~	クラス3	1600~3000
		クラス4	3000~

- ・案1のクラス2：
新旧シビック、ミラージュ、レビン&トレノ(S/C含む)、新旧インテグラ、スターレットターボ、セリカ、コルトターボ
- ・案2のクラス2は1600cc救済クラス。しかし台数はかなりいる。
- ・3000ccの区分を2500ccにした場合、参加車両はどうなるか。
1600ccの過給器付はクラス4にあがる。
- ・要はランサー、インプレッサを別枠にしたい。
- ・中部としては案2の3000ccで提案。恐らく近畿も同様であろう。

2. ラリー保険

- ・近畿より対人5000万円、対物200万円、搭乗者500万円を義務付けにしてほしい旨で要望あり。
- ・上記の条件だと中部の代理店では保険料が非常に高い。
- ・近畿の代理店ではかなり安い模様。近畿の代理店を紹介してもらう。

3. シリーズ事務局

- ・双方のシリーズ事務局同士が密に連絡を取り合えるのであれば、中部と近畿でそれぞれ人がいても問題は無い。

- ・現在の中部のシリーズ事務局：若林君は就職活動中だが、中部には残るつもり？
- ・以前使っていた申送り書の雛型を、次回の合同部会を出して検討する。

4. 2006年のカレンダー

- ・今年のカレンダーを付き合わせると、中部シロキヤと近畿HARDが日程重なる。
- ・HARDは開催地域の都合上、開催日はずらせない。
- ・シロキヤは降雪が予想されるため、後ろへは無理。2週間くらいの前出しならば可能。
- ・シロキヤが2週間前出しするとMASCと絡んでくる。
- ・MASCは来年、全日本に上がるのか？
- ・近畿側はシンフォニーの全日本がどうなるかによって変わる可能性あり。
- ・次回の合同部会の時には全日本の日程も発表になっているはず。
- ・各クラブとも来年のカレンダーの腹案を持っておくこと。

3. 第3回ラリーセミナー

- ・シロキヤの主管で5月28日に開催し、無事終了。参加台数は4台。報告は後日送付。

4. RTNラリー開催について

- ・今年もRTNがラリーを開催することになった。カレンダーは申請済。
- ・8月27日～28日：チャンピオンとターマックの併催で、準国内格式。
- ・チャンピオンシリーズ第3戦、ターマックシリーズ第3戦として承認。
- ・これによりMASCは地区戦第3戦・チャンピオン第4戦、シロキヤは地区戦第4戦・チャンピオン第5戦、NUACはターマック第4戦となる。
- ・変更後のカレンダーは事務局で作成し、中部のHPへ掲載する。
- ・RTNは2006年は地区戦を開催する用意有り。

5. 審査委員について

- ・RTNが追加になったことと、AND以降の審査委員が一部変更（下線部）。

		審査委員長	審査委員
6月18日～19日	AND	山岸（R-8）	増井（RCM）
7月09日～10日	R-8石川	川田（RTN）	大弥（MRT金沢）
8月27日～28日	RTN	御領（シロキヤ）	鳥居（DB）
10月15日～16日	MASC	岸畑（SHCC三重）	増井（RCM）
11月05日～06日	シロキヤ	長坂（MASC）	柳原（RTN）
11月26日～27日	NUAC	増井（RCM）	御領（シロキヤ）

6. ラリー装備品について

1. レーシングスーツ

- ・ハイアベラリー（SS無し）の際のレーシングスーツは必要か？とエントラントから質問有り。R-8の特別規則書には何も記載がない。
- ・規則上はオーガナイザーの指示が無い場合は不要と解釈になる。
中部共通規則第33条（4）参照。赤本と同じ文章。
- ・エントラントには「主催者に確認して下さい」と回答する。
- ・ハイアベラリーの場合、事前の準備が必要な装備品については、特別規則書等で規定したほうがよい。

2. 消火器

- ・特に特別規則書に定めが無い場合、RB車両は1.5kgでOK。
- ・先週の愛媛の全日本では、特別規則書に2.0kgの規定が有り、現場で混乱した。
- ・中部の場合は共通規則で2.0kgと規定しているので、RB車両も2.0kgの搭載となる。
- ・取り付けさえきちんとしてあれば、複数個搭載でも構わない。

3. 「+」マーク

- ・今年になって「+」マークが「SOS」マークに変わった。
- ・また、全日本をはじめ、Vitzラリーでも2枚のマークを準備し、Co-Drの他に運転席側にも装備するようにやっている。
- ・「+」か「SOS」かは、要は意図が伝わればよい。
- ・R-8のようにラミネートで作ってしまったところもあるので、「+」でも「SOS」でもよいこととする。
- ・枚数はコピーでも良いので2セット用意する。
- ・近い将来的には、ラリー装備品としてエントラントに準備させても良いのではないか。

次回 第4回JMRC中部ラリー専門部会は近畿との合同部会とする。

2005年08月21日(日) 13:00~17:00(予定)

JAF奈良支部 会議室(予定)

JMRC中部ラリー専門部会 事務局長 船木 一祥